

「常盤湖を考える」市民意見募集

期 間：平成 23 年 8 月 1 日～15 日

意見総数：5 件

- 白鳥のいない常盤湖はやはり寂しい。また、白鳥を飼うことができないか。
- しばらくは、今あるものを大切に育てていきたい。ペリカンや野鳥、梅・桜・藤などの木々、菖蒲・牡丹・植物園などの自然を生かし、彫刻展を時代に合わせながら発展させる。白鳥はなくなりましたが、自然豊かで、子ども達が遊び、市民も集える公園。
- 常盤湖最北部にわずかながら湿地が残されています。公園内で唯一、四季折々、ごく当たり前の自然の変化が観られる貴重なエリアです。この地で、ずっと命をつないできた、小さな生き物達が未来へと生き活動ができるよう、湿地環境の回復と存続を求める。
- 宇部は、空港、港があり、他の市と比較して人口からしても利するところが大きい。常盤湖に、県内各市の色々な観光・物産・歴史のブースを作り、ここに来れば県内の色々な物がかなりの所まで体験できるものを作って、市内外、県外からも他市に無い魅力あるレベルで集客をあげる。
- 常盤湖は山口県を代表できる一つに入るくらい素敵なところですが、飲食店で人を呼べるような店がないので、ランチに行けたり、おしゃれな雑貨、カフェがあると是非行ってみたい。

これまでに寄せられた市民意見（ご意見箱など）

期 間：平成 23 年 3 月以降

意見総数：5 件

- 常盤公園の近くに住んでいるが常盤池の横を通るたびに白鳥を見て、夜は白鳥の声を聞いて生活していた。処分は仕方のないことかもしれないけど寂しい。できることなら白鳥を復活させてほしい。
- 常盤公園のシンボルは白鳥というイメージでした。その公園のシンボルがなくなってしまったことが、本当につらくてなりません。常盤公園で生まれた白鳥の一部は、他の公園でも飼育されていると聞きました。近い将来、その子たちがまた常盤公園に戻ってきてほしいと思います。
- いつから常盤公園の白鳥が飼育されていたのか定かではありませんが、気がついた時には居てあたりまえとっていました。心をこめて飼われており、また、市民の心やすまる空間であったことは間違いありませんが、自然の渡り鳥であれば飛んで逃げられたものが、この状態（切羽）で飼われていたばかりに、全部殺処分となってしまいました。今後は、このような不自然な飼い方は是非やめてほしいと思います。鯉のいる池で充分、皆よろこべると思います。（又、同じ事が起きることは、あまりにむなしい事です。）
- 市民の悲しみを少しでも癒す効果も踏まえて、今回殺処分された白鳥達と同じ数の「3 2 2」個の彫刻を作ってみるといのはいかがでしょうか。そして、市民の一口オーナー制度にして、今だったら一部を義援金にしてもよいのでは。予算面・管理面での調整が必要かとも思いますが、この国難の時期「心の癒し」「国民の一体化」が必要な時だからこそ、是非とも前向きに御検討ください。
- サルや他の動物たちも白鳥の鳴き声を聞くことができなくなって、淋しく思っていると思います。それから、慰霊碑など、建ててほしいです。